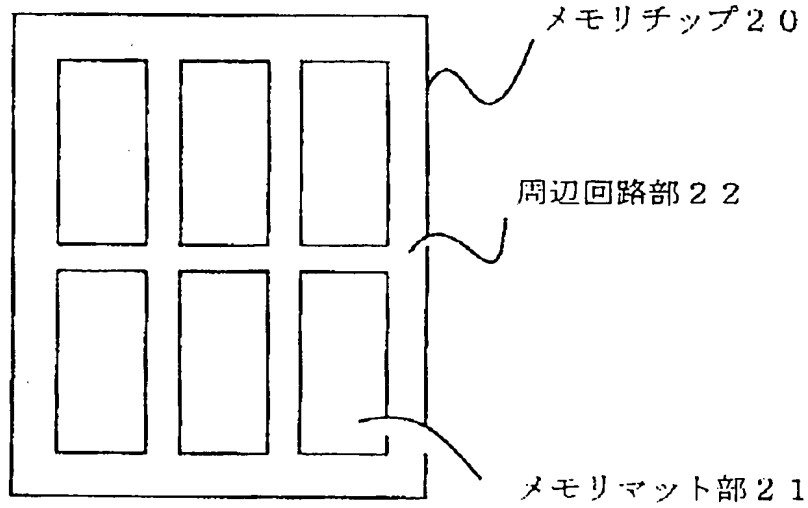


【図15】

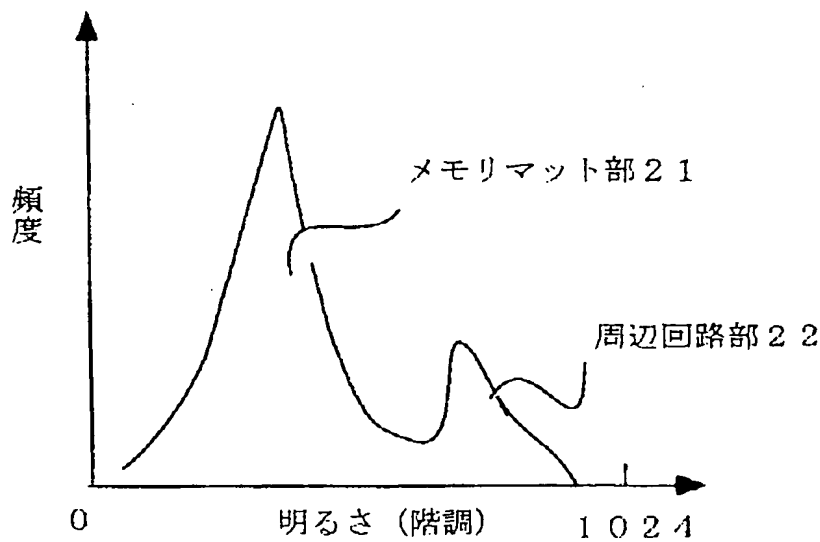
E4582-01/EN

Fig. 1
~~図 15~~



【図16】

Fig. 2
~~図 16~~

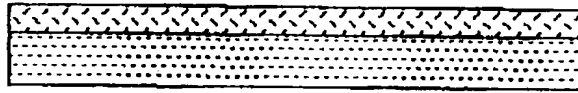


660240" 2ET46260

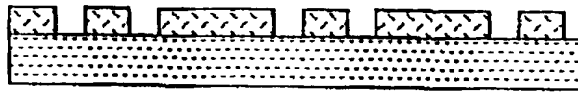
【図17】

Fig. 3
~~図 17~~

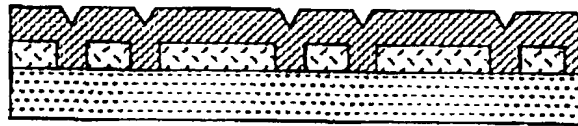
絶縁層
デポジション



絶縁層
パターンニング



配線層
デポジション



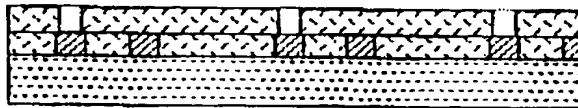
CMP



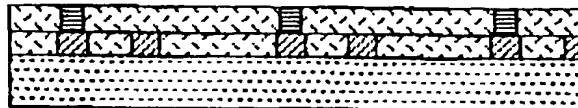
絶縁層
デポジション



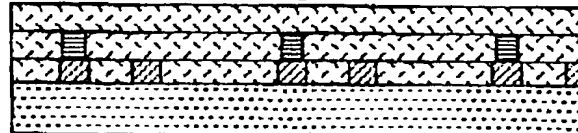
スルーホール
形成



スルーホール
充填



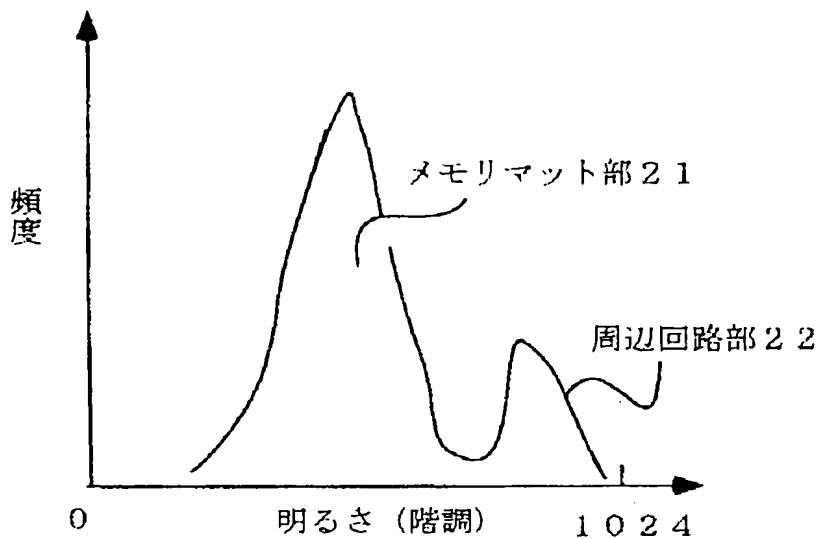
絶縁層
デポジション



09294137/042099

【図18】

Fig. 4
~~図18~~



09294137.042099
660240" ZET46260

~~(2-1)~~

Fig. 5
~~(2-1)~~

	-1	0	1
-1	$8.28 \times 10''$	$1.56 \times 10''$	$9.07 \times 10''$
0	$8.55 \times 10''$	0	$8.59 \times 10''$
1	$9.0 \times 10''$	$1.35 \times 10''$	$8.33 \times 10''$

~~(2-2)~~

Fig. 6
~~(2-2)~~

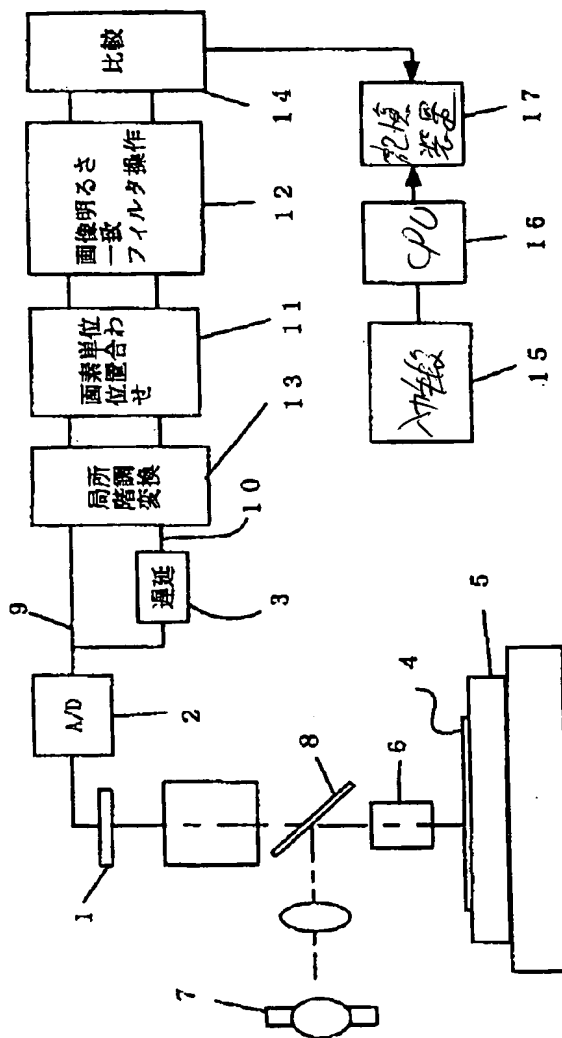
	-1	0	1
-1	967323	742941	951727
0	953922	732608	939418
1	950797	728323	937704

000240" ZET46260

ファイル名 = D97010911A1.et

【図2】

Fig. 8
2



ファイル名 = D97010911A1.e1

【図3】

Fig. 9
図3

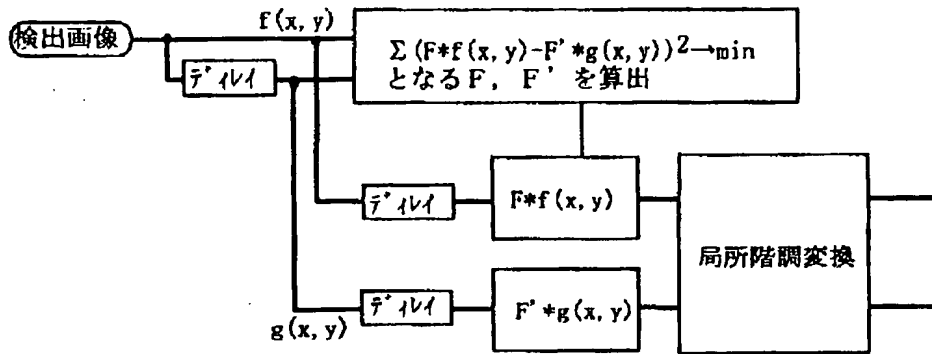


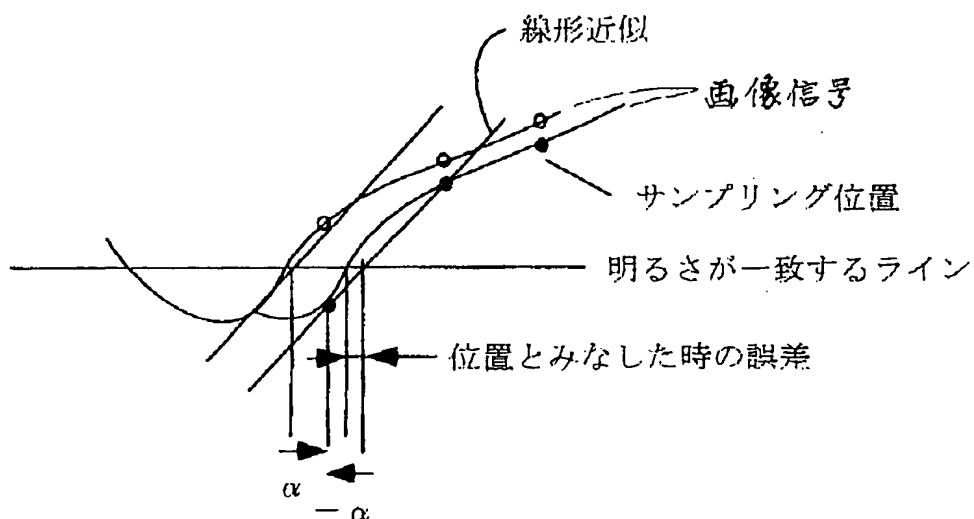
Fig. 10
図5

$$F = \begin{bmatrix} 1 - \alpha - \beta & \alpha \\ \beta & 0 \end{bmatrix}$$

$$F' = \begin{bmatrix} 0 & \beta \\ \alpha & 1 - \alpha - \beta \end{bmatrix}$$

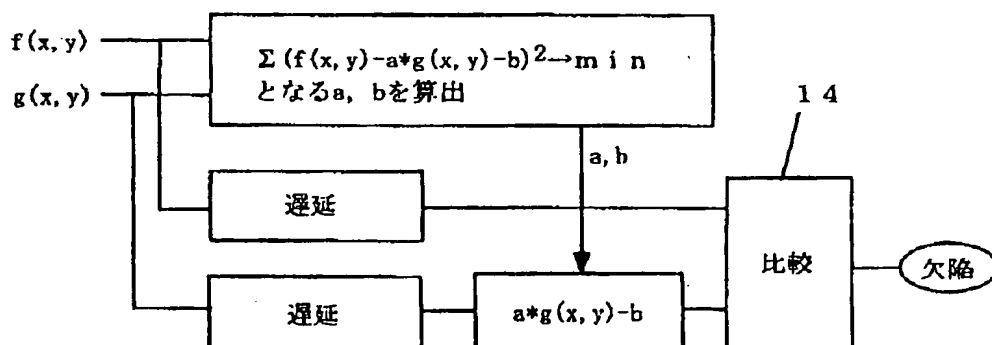
660240" ZET46260

Fig. 11
~~図14~~



【図4】

Fig. 12
~~図4~~



本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

図 13 Fig. 13

$f(x, y)$

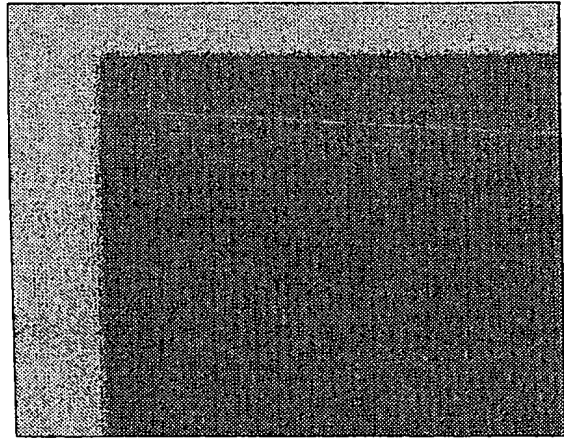


Fig. 13A

$g(x, y)$

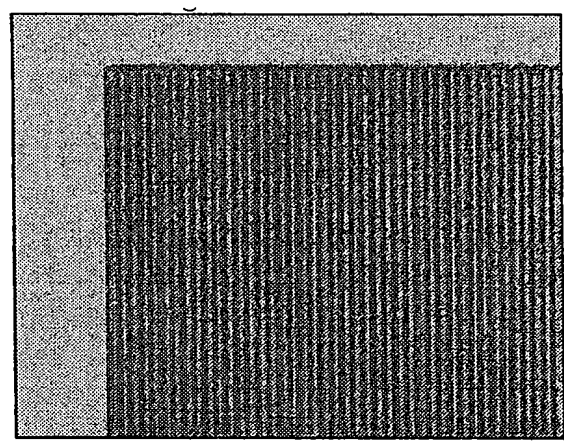


Fig. 13B

$|f(x, y) - g(x, y)|$

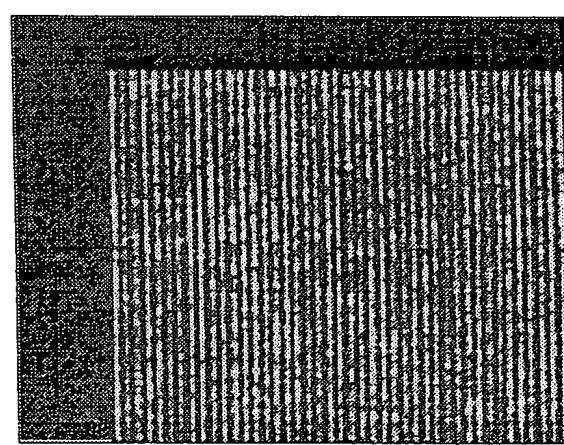


Fig. 13C

差画像

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表すように図面を作成する。
2. 図面に、図名、図示の部材の名称、発明の要旨、特許請求の範囲、発明の詳細な説明、図面の簡単な説明、発明の効果、産業上の利用可能性、その他を記載する。
3. 中絶図は、図面に記載しない。
4. 図面に、図名、図示の部材の名称、発明の要旨、特許請求の範囲、発明の詳細な説明、図面の簡単な説明、発明の効果、産業上の利用可能性、その他を記載する。
5. 図面に、図名、図示の部材の名称、発明の要旨、特許請求の範囲、発明の詳細な説明、図面の簡単な説明、発明の効果、産業上の利用可能性、その他を記載する。
6. 図面に、図名、図示の部材の名称、発明の要旨、特許請求の範囲、発明の詳細な説明、図面の簡単な説明、発明の効果、産業上の利用可能性、その他を記載する。
7. 図面に、図名、図示の部材の名称、発明の要旨、特許請求の範囲、発明の詳細な説明、図面の簡単な説明、発明の効果、産業上の利用可能性、その他を記載する。
8. 図面に、図名、図示の部材の名称、発明の要旨、特許請求の範囲、発明の詳細な説明、図面の簡単な説明、発明の効果、産業上の利用可能性、その他を記載する。
9. 図面に、図名、図示の部材の名称、発明の要旨、特許請求の範囲、発明の詳細な説明、図面の簡単な説明、発明の効果、産業上の利用可能性、その他を記載する。
10. 図面に、図名、図示の部材の名称、発明の要旨、特許請求の範囲、発明の詳細な説明、図面の簡単な説明、発明の効果、産業上の利用可能性、その他を記載する。

09094137.042099

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下（上記余裕を含む）。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

<表の例>

表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

<数式の例>

$$|i_1| = \frac{Edc}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数 1})$$

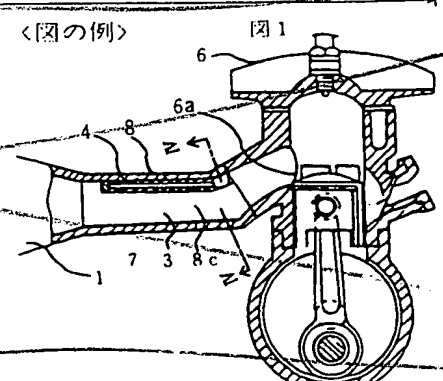


図 1

- 5.....排気装置
- 6.....2 サイクルエンジン
- 6a.....排気孔
- 7.....排気管
- 8.....共振管
- 8c.....共振室

~~本図面をイメージセンターで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。~~

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表わす
単語を国とする。
2. 各国ごとに、
国家上四つの国
語、国家の上
に神祕な異
言語、各号
類の商標する
3. 中国の人は大
きく。
4. 日本は二つ以上
の国語がある
とき、必ず上
下両方に書く
こと。
5. 印刷紙、印刷
紙の背外には
み出さないよ
うにし、定規、
コンパスを用
いて明確に書
く。
6. 符号(アラビ
ア数字)は引
出線を引いて
記入する。
7. 符号は○枠で
囲まない。ま
た符号はでき
るだけ大きく
する。
8. 同一部分が2
以上の図にあ
るときは、同一
の符号を各國
に出ける。
9. 断面を示す部
分には、ハッ
チングを施す。
塗りつぶして
はならない。

~~Fig. 15A~~ Fig. 15A

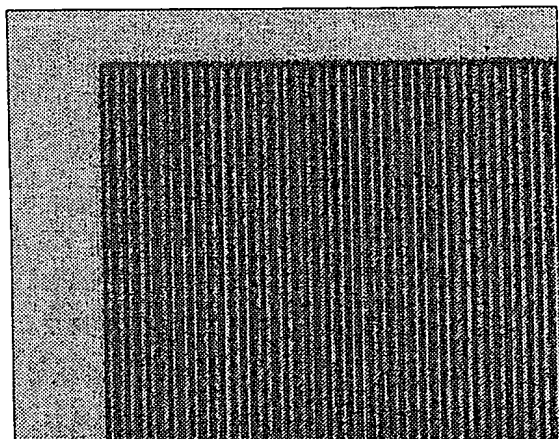
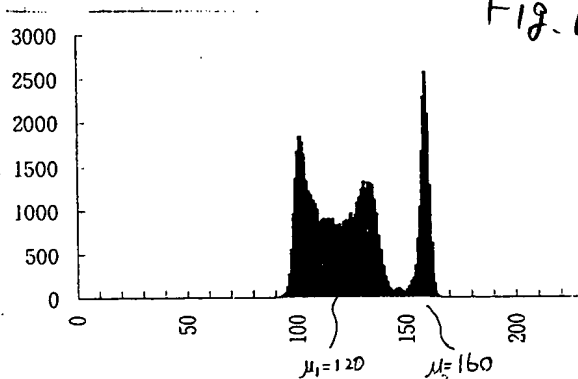
 $f(x, y)$

Fig. 15B



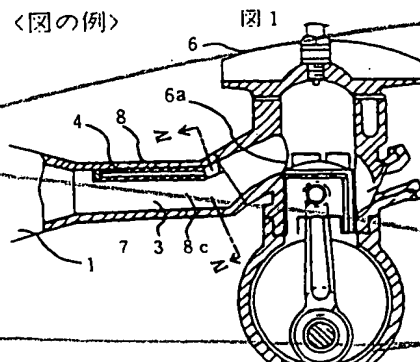
$f(x, y)$ 9 9A3T e2h774

09-06-2017

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下（上記余裕を含む）。
- G3フタクミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

＜図の例＞

图 1



- 5.....排気装置
6.....2サイクル
エンジン
6a...排気孔
7.....排気管
8.....共鳴管
8c...共鳴室

〈表の例〉

表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

＜数式の例＞

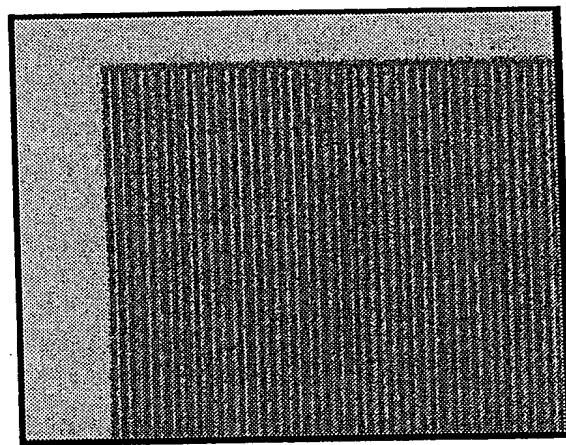
$$|i_1| = \frac{E_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数} 1)$$

本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

作成上の注意

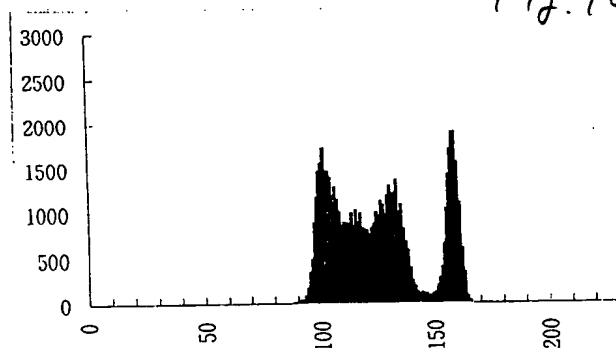
1. 発明の特徴を最も良く表わす図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のようにつづき番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 1枚の図面に2以上の図があるときは、図1、図2、図3と順序を付ける。
5. 図面は、白黒の図に着色しない。また、図面に用いた記号は、明確に書く。
6. 符号（アラビア数字）は引出線を用いて記入する。
7. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
8. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
9. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

図 6(c) Fig. 16A



$$a \times g(x, y) + b$$

Fig. 16B



{a \times g(x, y) + b} の明細書に記す

* a, b は 画像の局所領域内でそれぞれ求める。
各点において

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm、縦 30mm以上、210mm以下（上記余裕を含む）。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

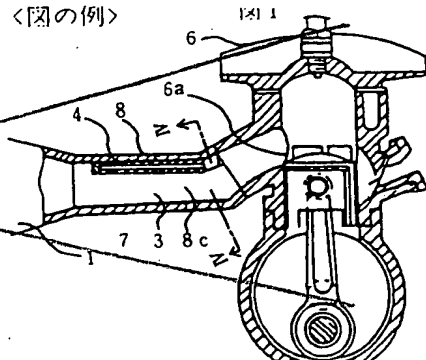
<表の例>

表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

<数式の例>

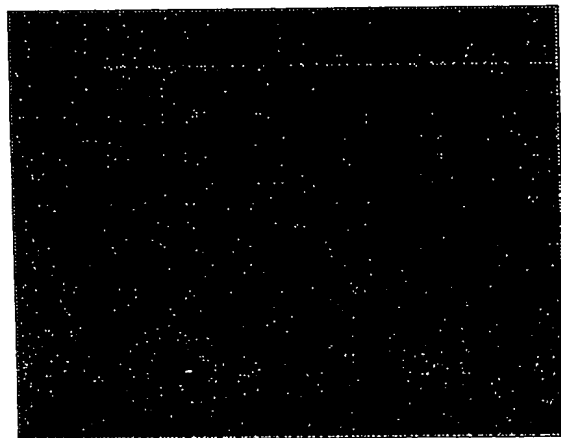
$$|i_1| = \frac{E_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数 1})$$



- 5.....排気装置
- 6.....2 サイクルエンジン
- 6a...排気孔
- 7.....排気管
- 8.....共振管
- 8c...共振室

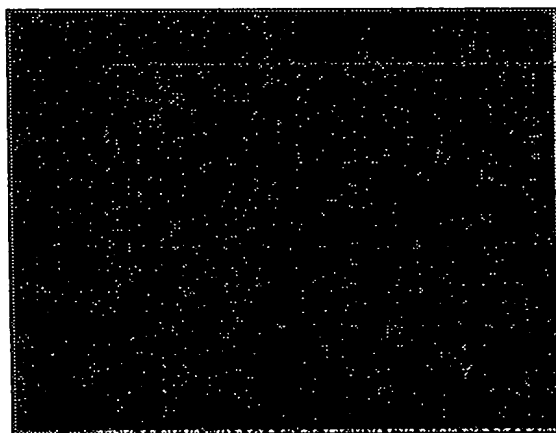
本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

Fig. 17A
図 7(a)



差画像 1 (3×3)

Fig. 17B



差画像 2 (5×5)

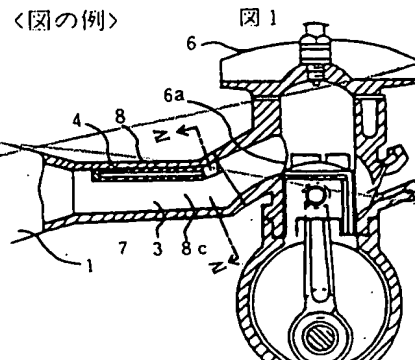
作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図には、図面上部中央に「図1」「図2」のように図番号を付し、番号の直下に図名を記す。
3. 図1には、発明の概要を示すように、必要に応じて、図1の左側に、図1の図名を記す。
4. 図1には、図1の図名を記す。
5. 図面は、方眼紙の枠外にはみ出さないようにし、定規、コンパスを用いて明確に書く。
6. 図1には、図1の図名を記す。
7. 図1には、図1の図名を記す。
8. 図1には、図1の図名を記す。
9. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

09294137 042099

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下（上記余裕を含む）。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

〈図の例〉



- 5.....排気装置
- 6.....2サイクルエンジン
- 6a.....排気孔
- 7.....排気管
- 8.....共鳴管
- 8c.....共鳴室

〈表の例〉

表 1

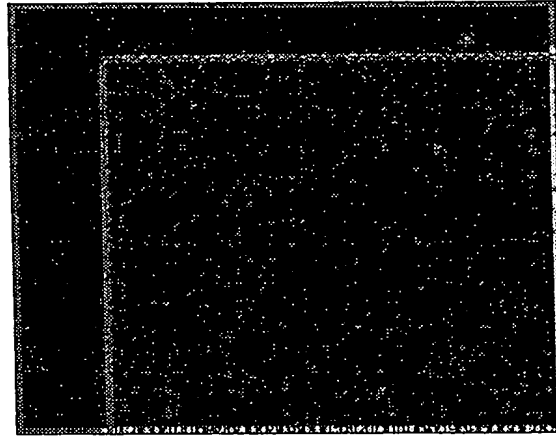
	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

〈数式の例〉

$$|I_1| = \sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2} \dots (数 1)$$

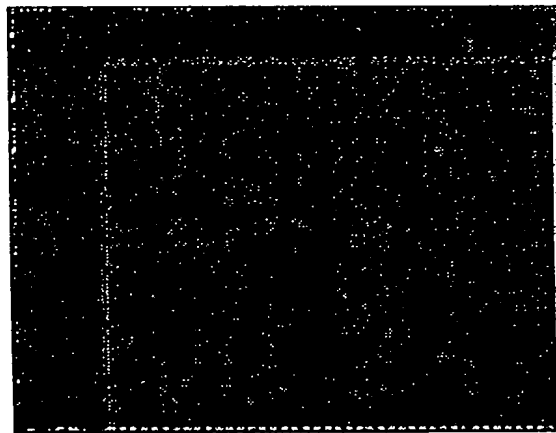
本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

Fig. 18A
図 7 (b)



差画像 3 (7×7)

Fig. 18B



差画像 4 (7×7, 電圧付)

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各国ごとに、図の上部に図の名称、図の番号、図の番号、図の番号を記載する。
3. 図の上部に図の名称、図の番号、図の番号、図の番号を記載する。
4. 図の上部に図の名称、図の番号、図の番号、図の番号を記載する。
5. 図の上部に図の名称、図の番号、図の番号、図の番号を記載する。
6. 図の上部に図の名称、図の番号、図の番号、図の番号を記載する。
7. 図の上部に図の名称、図の番号、図の番号、図の番号を記載する。
8. 図の上部に図の名称、図の番号、図の番号、図の番号を記載する。
9. 図の上部に図の名称、図の番号、図の番号、図の番号を記載する。

650240" 4ET46260

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下（上記余裕を含む）。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

<表の例>

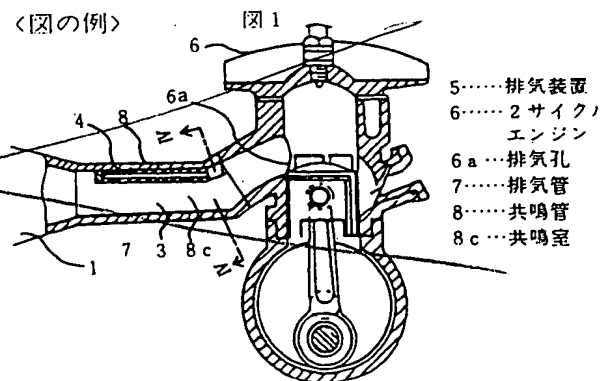
表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

<数式の例>

$$|i_1| = \frac{e_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数 1})$$

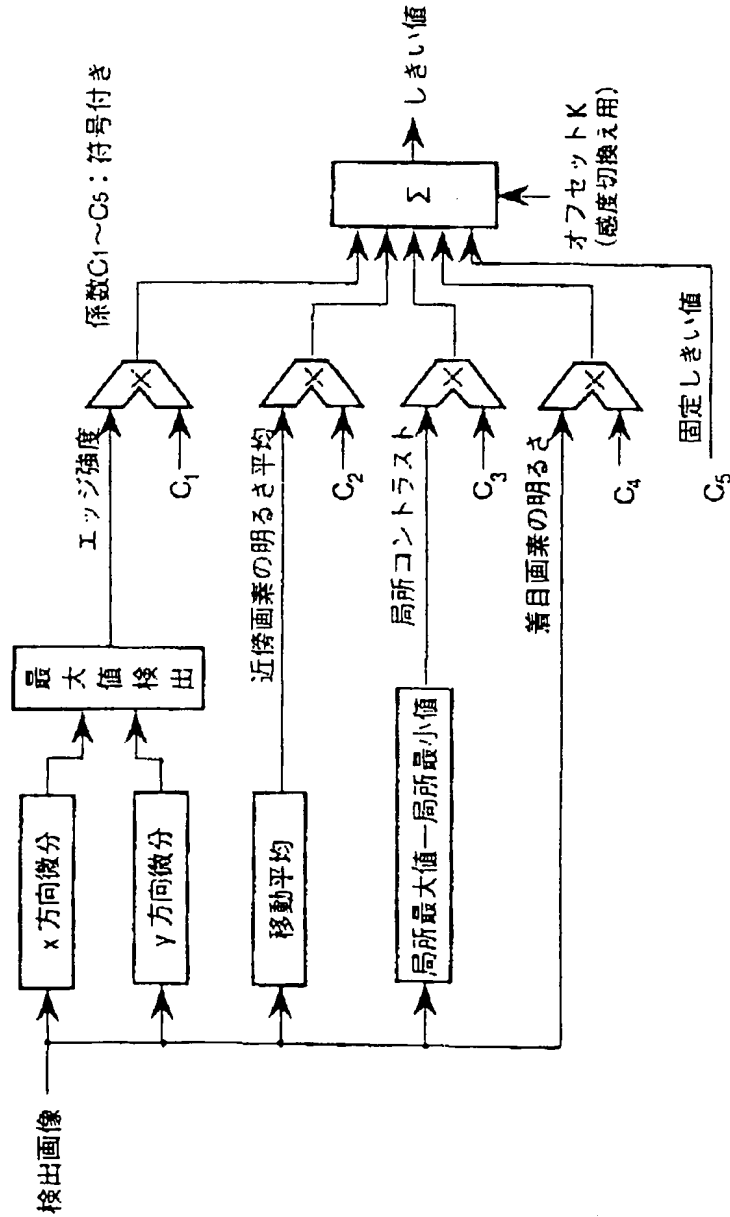
<図の例>



ファイル名 = D97010911A1.e1

〔図 12〕

Fig. 19
~~図 12~~

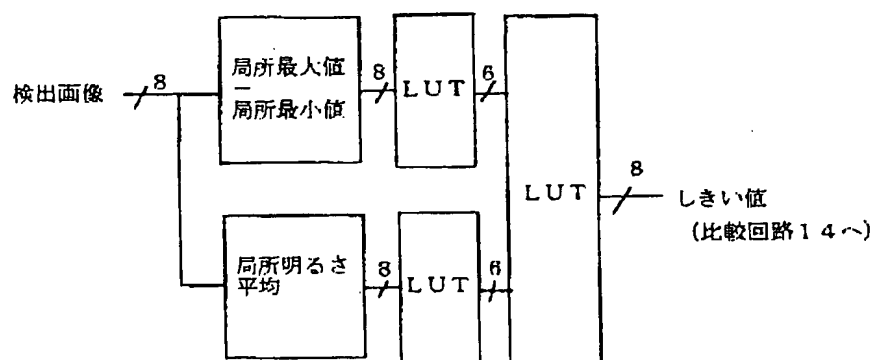


~~ファイル名 = D97010011A1.el~~

~~【☒ 1-3】~~

Fig. 20

图 1-3



本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

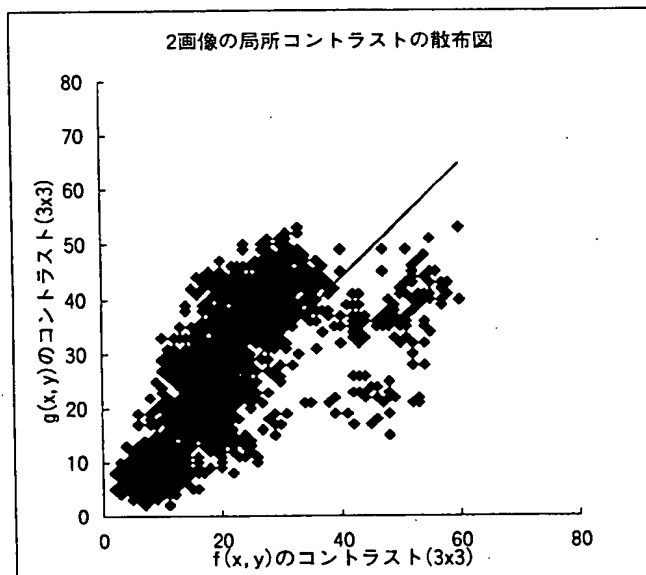
Fig. 21

23 (a)

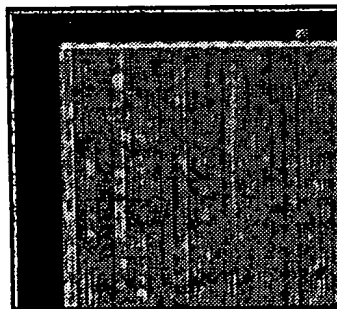
1) 画素単位的位置あわせ後

傾き	切片
1.038	2.336

Vr= 125.774
Ve= 59.653



Veの値



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のようにつなぐ番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 1枚に2つ以上の図があるときは必ず上下方向に並べる。
5. 図面上、方眼紙の枠外には、みだしをいようとし、定規、コンパスを用いて正確に書く。
6. 符号（アラビア数字）を引出線を引いて記入する。
7. 符号は4つで回らない、また符号はできるだけ大きくする。
8. 同一部分の2以上の図にあらわす時は、同一の符号を各図に付ける。
9. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下（上記余裕を含む）。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

〈表の例〉

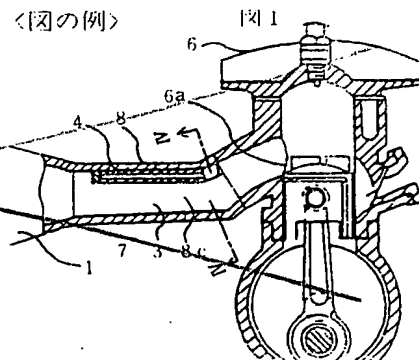
表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

〈数式の例〉

$$|I_1| = \frac{E_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数 1})$$

〈図の例〉



- 5.....排気装置
- 6.....2サイクルエンジン
- 6a...排気孔
- 7.....排気管
- 8.....共鳴管
- 8c...共鳴室

本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 1枚に2つ以上の図表があるときは必ず上下方向に並べる。
5. 図面は、方眼紙の枠外にはみ出さないようにし、定規、コンパスを用いて明確に書く。
6. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
7. 符号は1枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
8. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
9. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

Fig. 22

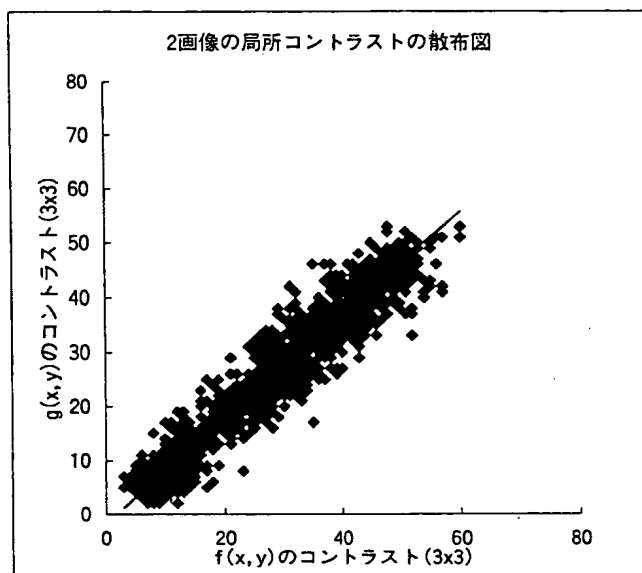
Fig. 22 (b)

2)明るさ合わせ後

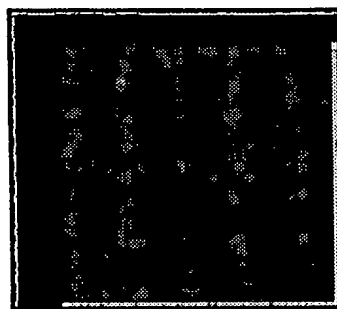
傾き	切片
0.958	-1.649

Vr= 175.852

Ve= 9.603



V_2 の値



- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下(上記余裕を含む)。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

表の例

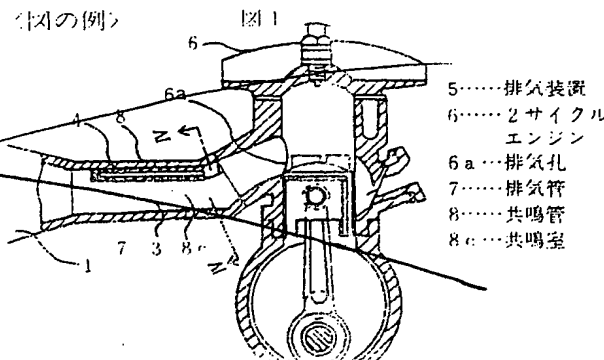
表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 5
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

数式の例

$$f(i) = \sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2} \dots (\text{数 1})$$

図の例



子出願図面用紙

本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表わす図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のよつに連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 1枚に2つ以上の図表があるときは必ず上方向に並べる。
5. 図面は、方眼紙の枠外にはみ出さないようにし、定規、コンパスを用いて明確に書く。
6. 符号(アラビア数字)は引出線を用いて記入する。
7. 符号は枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
8. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
9. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

Fig. 23

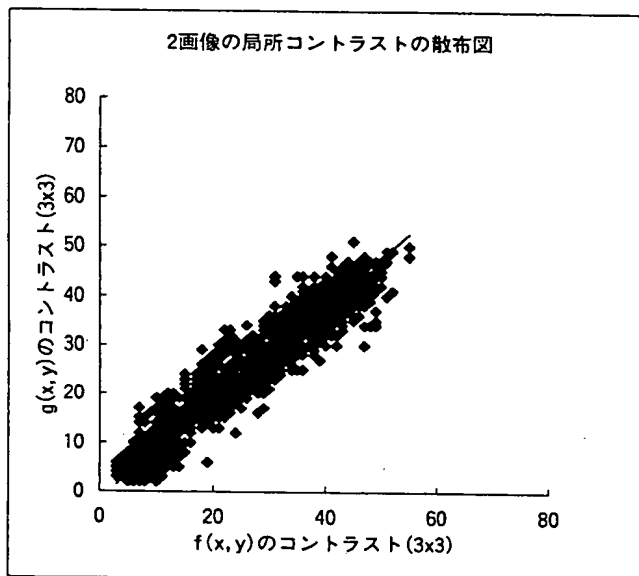
~~Fig. 23 (c)~~

3) サブピクセルの位置あわせ後

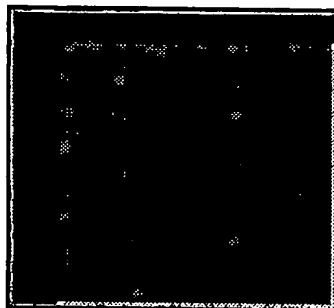
傾き	切片
0.981	-1.454

Vr= 168.393

Ve= 8.869



Ven値



- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下(上記余裕を含む)。
- G37(7線/ミリ)程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

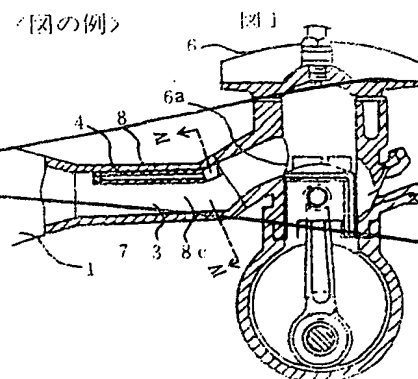
〈表の例〉

表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

〈数式の例〉

$$|i| = \sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2} \dots (\text{数 1})$$



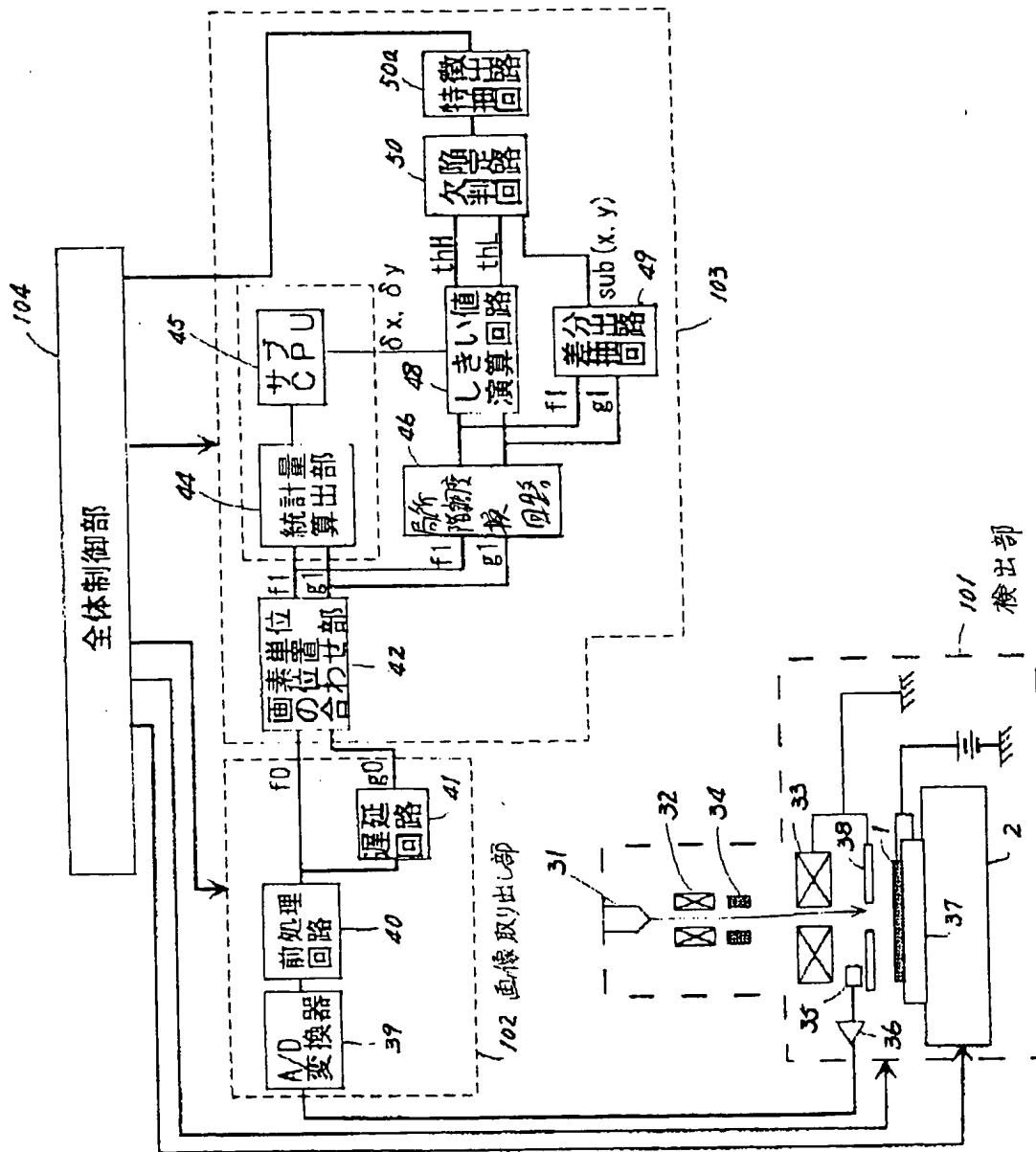
- 5……排気装置
6……2サイクルエンジン
6a……排気孔
7……排気管
8……共鳴管
8c……共鳴室

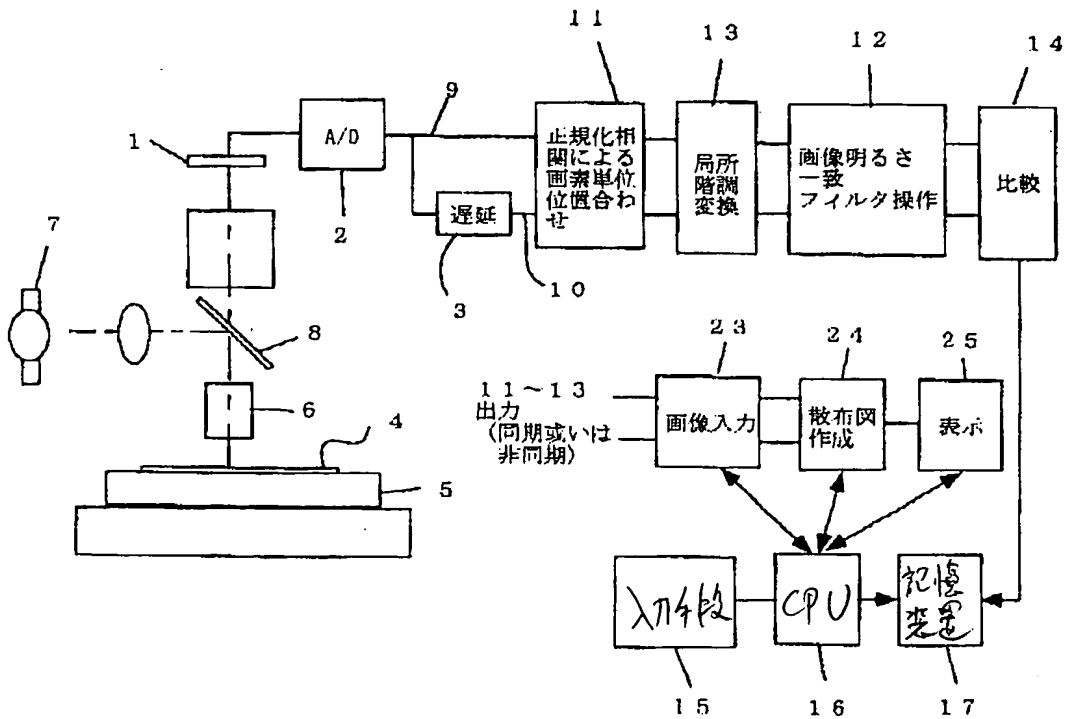
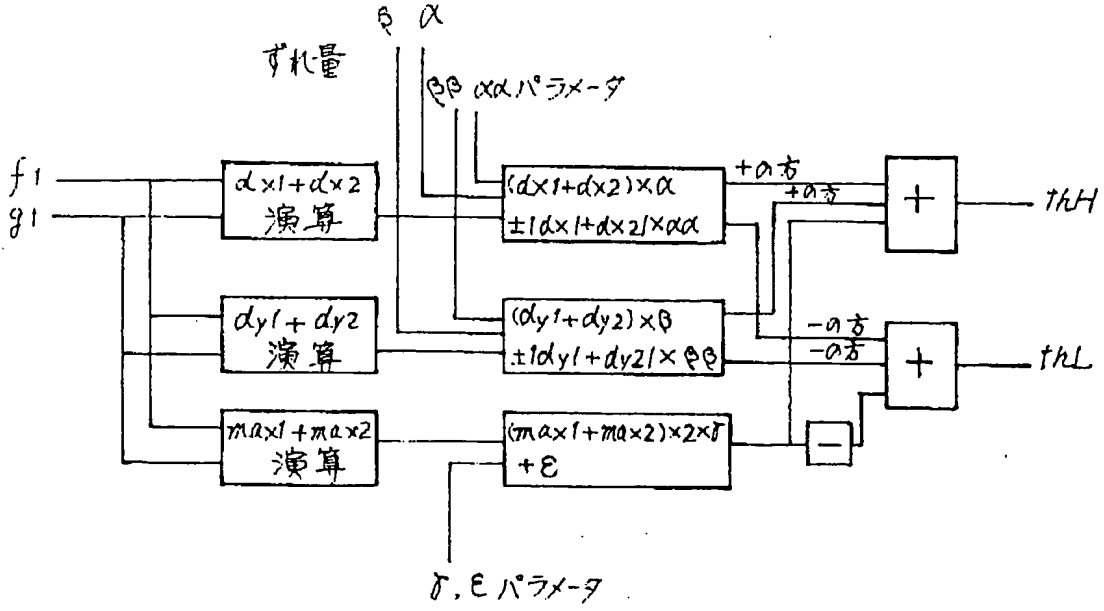
ファイル名 - D97010911A1.ct

【図 19】

Fig. 24

図 19

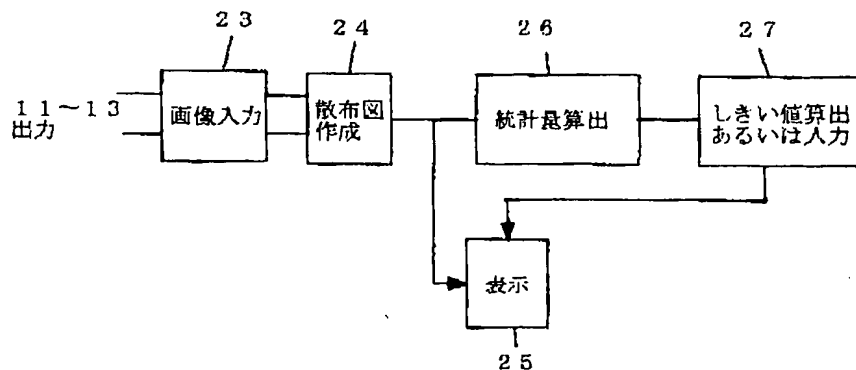




ファイル名 = D97010911A1.e1

【図24】

Fig. 21
~~図24~~



660240" / E F 46260

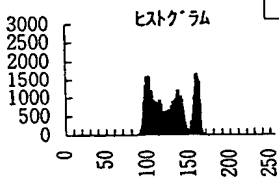
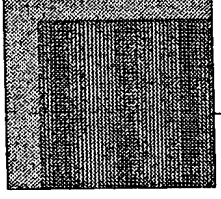
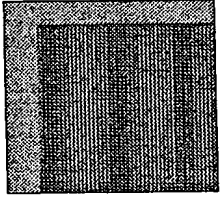
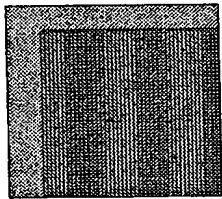
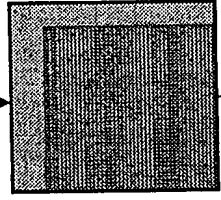
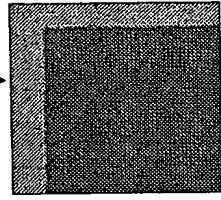
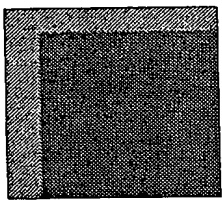
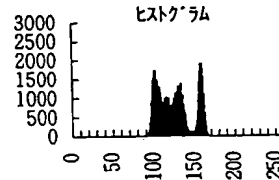
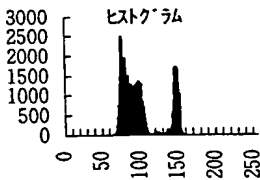
本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

Fig. 28

21 (a)

作成上の注意

1. 発明の特徴を最もよく表わす図を1図とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連番番号を付し、番号順に配列する。中心線は記入しない。1枚に2つ以上の図表があるときは必ず上下方向に並べること。



画像の統計量

検出位置ずれ量(1,1)	
max	66
min	0
μ	25.9
σ	10.92
コントラスト(L&S)	45
コントラスト/max	0.682
相互相関係数	0.917

ゲイン=1.319
オフセット=0.0039

max	29
min	0
μ	1.94
σ	2.35
コントラスト(L&S)	61
コントラスト/max	2.103
相互相関係数	0.991

フィルタリング

図面は、方眼紙の外にはみ出さないようにし、定規、コンパスを用いて明確に書く。符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。符号はのりで囲まない。また符号はできるだけ大きくする。同一部分が2つ以上あるときは、同一の符号を各図に付ける。

断面を示す部分には、ハッチングを施す。斜りつづけてはならない。

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 152mm 縦 30mm以上、200mm以下(上記余裕を含む)。
- G3ファブミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。
- 図面については、何を表わす図かを読み取り範囲内に記載する。

〈表の例〉

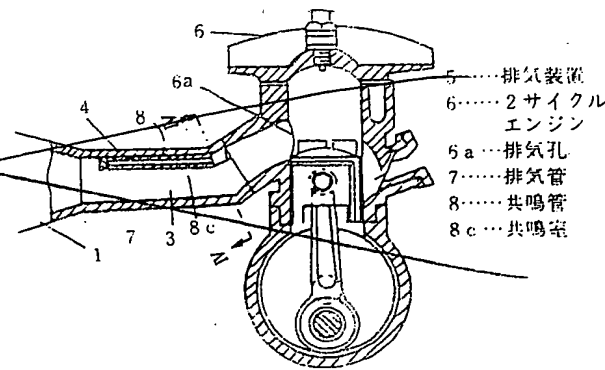
条件を表わす表(表1)

	条件1	条件2
回路1	1. 5	2. 3
回路2	1. 2	1. 9
回路3	1. 8	2. 4

〈数式の例〉

$$|i_1| = \frac{E_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数1})$$

〈図の例〉 2サイクルエンジンの断面図(図1)



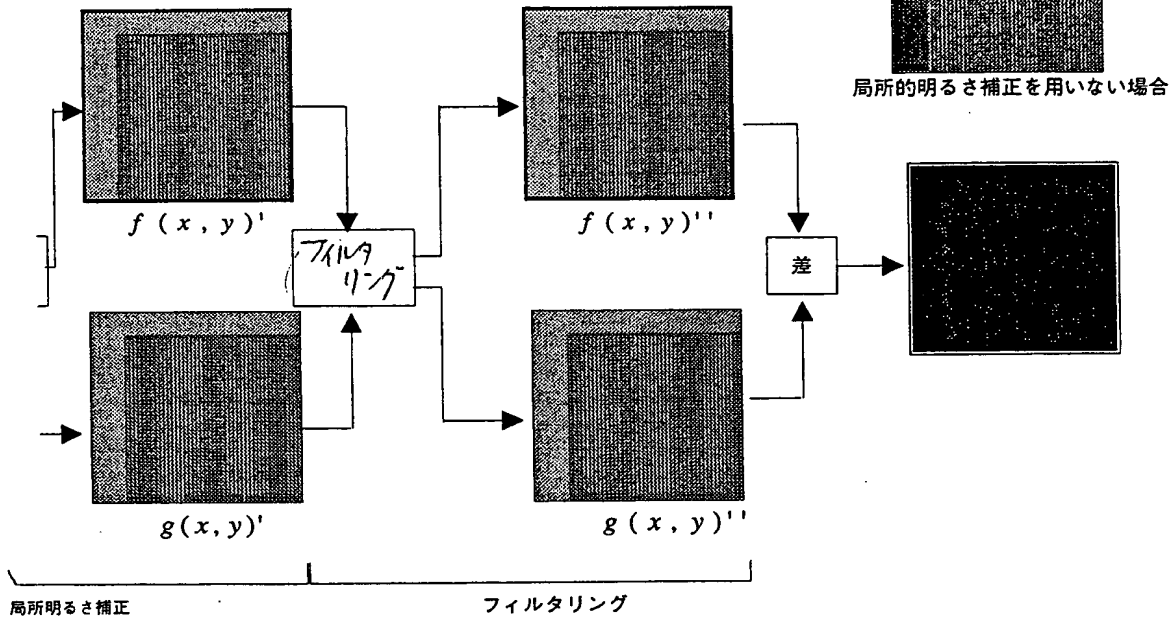
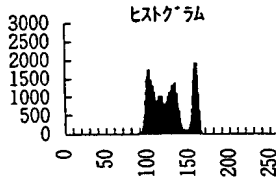
- 5.....排気装置
- 6.....2サイクルエンジン
- 6a.....排気孔
- 7.....排気管
- 8.....共鳴管
- 8c.....共鳴室

本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

作成上の注意

1. 発明の特徴を最もよく表わす図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上部に図1、図2のようは連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 1枚に2つ以上の図があるときは必ず上下方向に並べる。
5. 図面は、方眼紙の外にはみ出さないようにし、定規、コンパスを用いて明確に書く。
6. 符号(アラビア数字)は引出線を用いて記入する。
7. 符号は図中で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
8. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
9. 断面を示す部分は、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

Fig. 29
~~Fig. 21 (b)~~



ゲイン=1.319
オフセット=0.0039

max	29
min	0
μ	1.94
σ	2.35
コントラスト(LAS)	61
コントラスト/max	2.103
相互相関係数	0.991

$\alpha=0.036(x)$
 $\beta=0.106(y)$

max	25
min	0
μ	1.92
σ	1.87
コントラスト(LAS)	57
コントラスト/max	2.280
相互相関係数	0.993

28
(図 21(a) の続き)

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ: 横 152mm 縦 30mm以上、200mm以下 (上記余裕を含む)。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。
- 図面については、何を表わす図かを読み取り範囲内に記載する。

<表の例>

条件を表わす表 (表1)

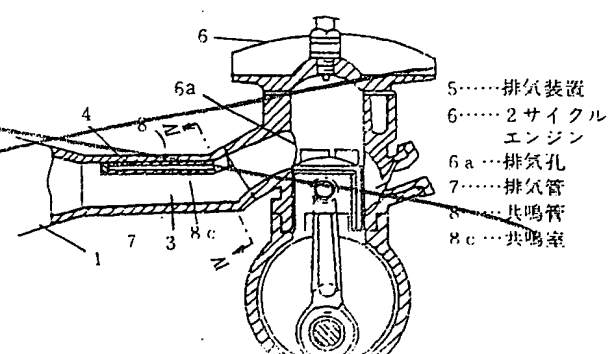
	条件1	条件2
回路1	1. 5	2. 3
回路2	1. 2	1. 9
回路3	1. 8	2. 1

<数式の例>

$$|r_1| = \frac{e_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (数1)$$

<図の例>

2サイクルエンジンの断面図(図1)



本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

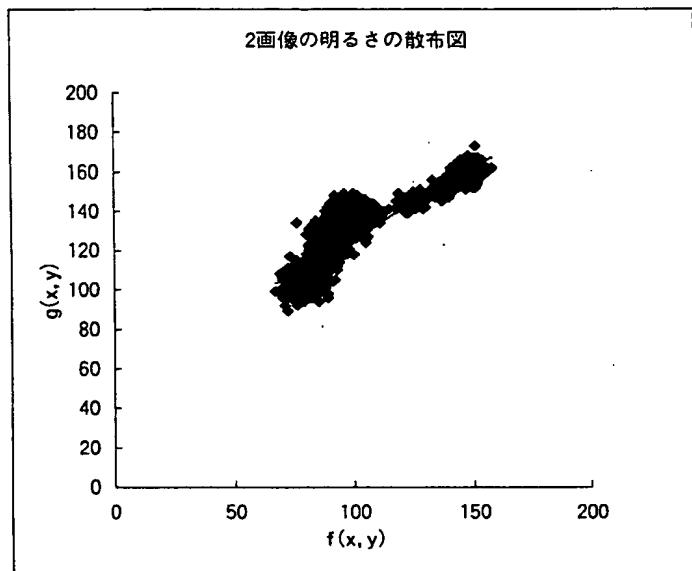
Fig. 30
12-22(a)

2枚の画像の明るさの散布と統計量 V_e

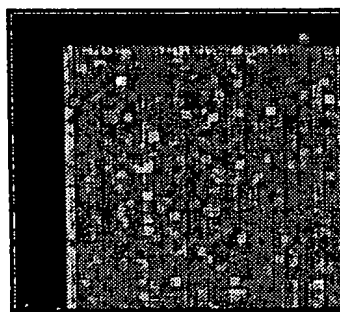
1)画素単位の位置あわせ後

傾き	切片
0.705	55.947

$V_r = 447.4806$
 $V_e = 40.02821$



V_e の値



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表わす図を図1とする。
2. 各国ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 1枚に2つ以上の図表があるときは必ず上下方向に並べる。
5. 図面は、方眼紙の枠外にはみ出さないようにし、定規、コンパスを用いて明確に書く。
6. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
7. 符号は1冊で回らない、また符号はできるだけ大きくする。
8. 同一部分が2以上の図表にある時は、同一の符号を各図に付ける。
9. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下(上記余裕を含む)。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

<表の例>

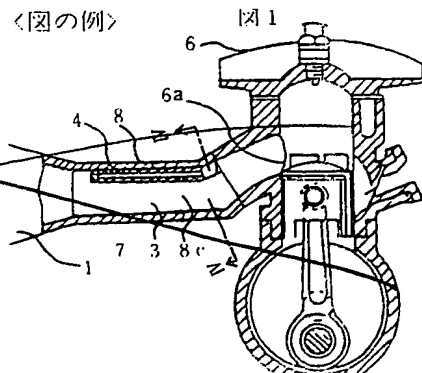
表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 1

<数式の例>

$$|I_1| = \frac{E_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (数 1)$$

<図の例>



- 5.....排気装置
- 6.....2 サイクル エンジン
- 6a...排気孔
- 7.....排気管
- 8.....共鳴管
- 8c...共鳴室

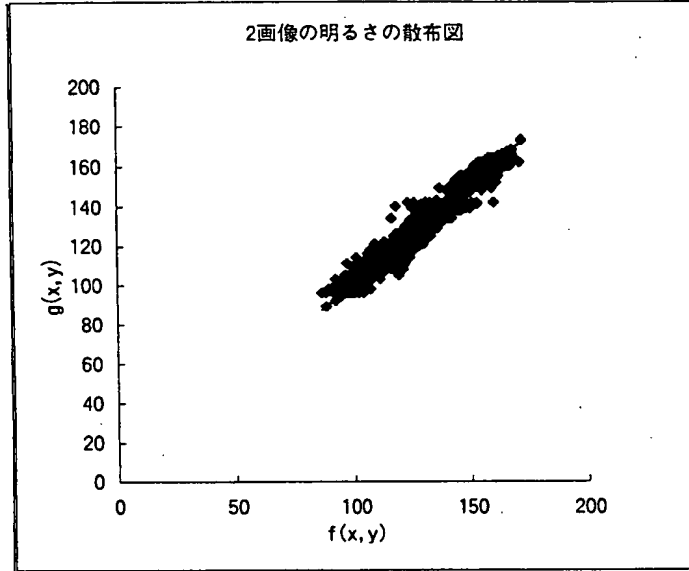
本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

Fig 31
22 (b)

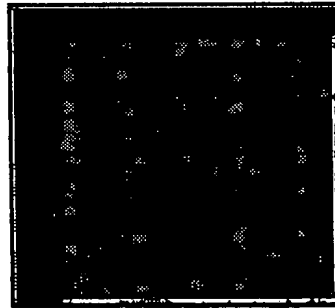
2) 明るさ合わせ後

傾き	切片
0.986	2.567

Vr= 478.921
Ve= 8.598012



Veの値



作成上の注意

- 発明の特徴を最も良く表わす図を1とするとする。
- 各国ごとに、図の上側に図1、図2のよう、図2のよう、に連続番号を付し、番号順に配列する。
- 中心線は記入しない。
- 1図2つ以上の図表があるときは必ず上下方向に並べること。
- 図面は、方眼紙の外にはみ出さないようにし、定規、コンパスを用いて明確に書く。
- 符号(ラビ数字)は引出線を用いて記入する。
- 符号は1行で用いない。また符号はできるだけ大きくする。
- 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下(上記余裕を含む)。
- G3マクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

表の例

表 1

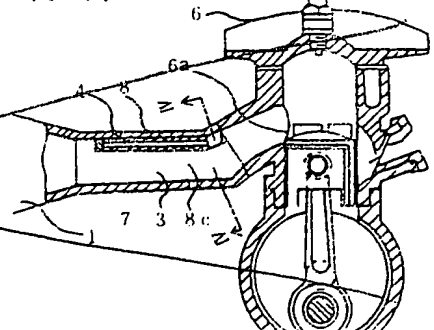
	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

数式の例

$$|i_1| = \frac{e_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数 } 1)$$

図の例

図 1



- 5.....排気装置
- 6.....2サイクルエンジン
- 6a.....排気孔
- 7.....排気管
- 8.....共鳴管
- 8a.....共鳴室

本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま出願される場合があるので、作成上の注意を厳守して作成する。

作成上の注意

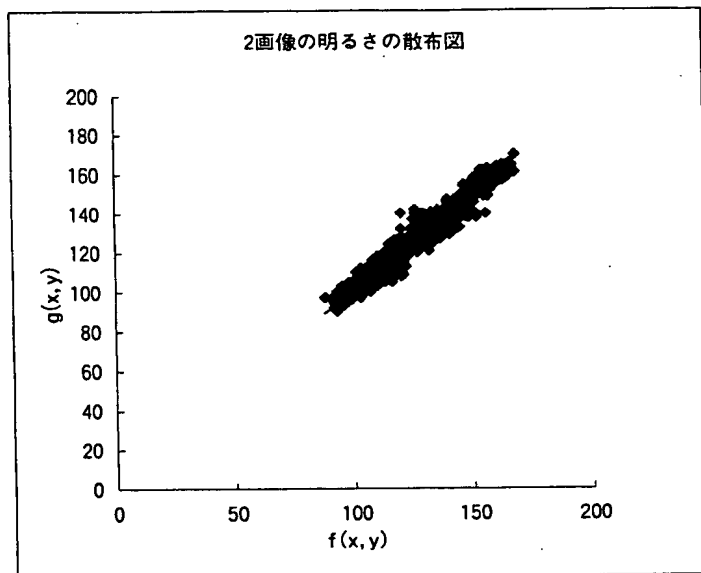
1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上部に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 1枚に2つ以上の図があるときは必ず上方向に並べること。
5. 図面は、方眼紙の枠外にはみ出さないようにし、定規、コンパスを用い、明確に書く。
6. 符号(アラビア数字)は引線等を引いて記入する。
7. 符号は一律で用いる。また符号はできるだけ大きくする。
8. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
9. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

Fig. 32
~~Fig. 22(c)~~

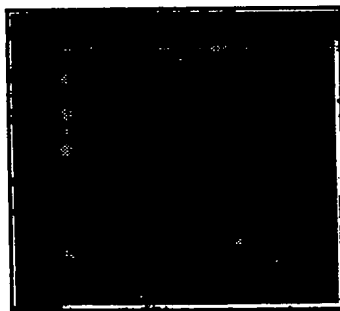
3) フィルタリング後

傾き	切片
0.991	1.568

Vr= 473.2729
Ve= 7.477604



Veの値



- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下(上記余裕を含む)。
- C3フタのミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

〈表の例〉

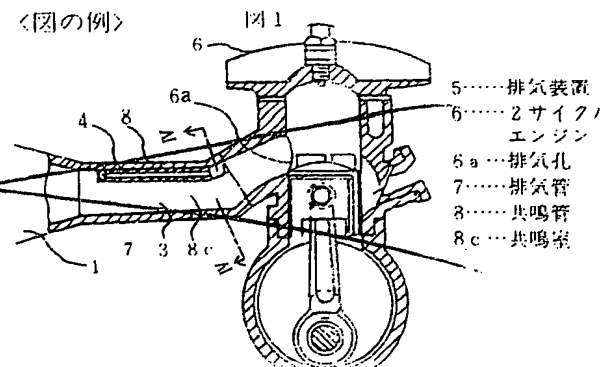
表 1

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 3	2. 4

〈数式の例〉

$$|Z| = \sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2} \dots (\text{数 1})$$

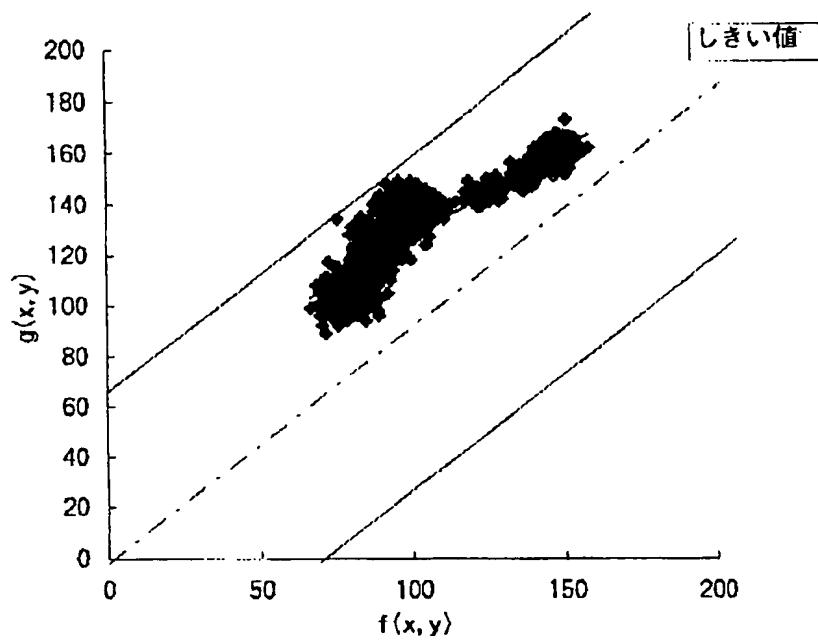
〈図の例〉



ファイル名 = D07010011A1.e1

【図34】

Fig. 33
~~図 34~~

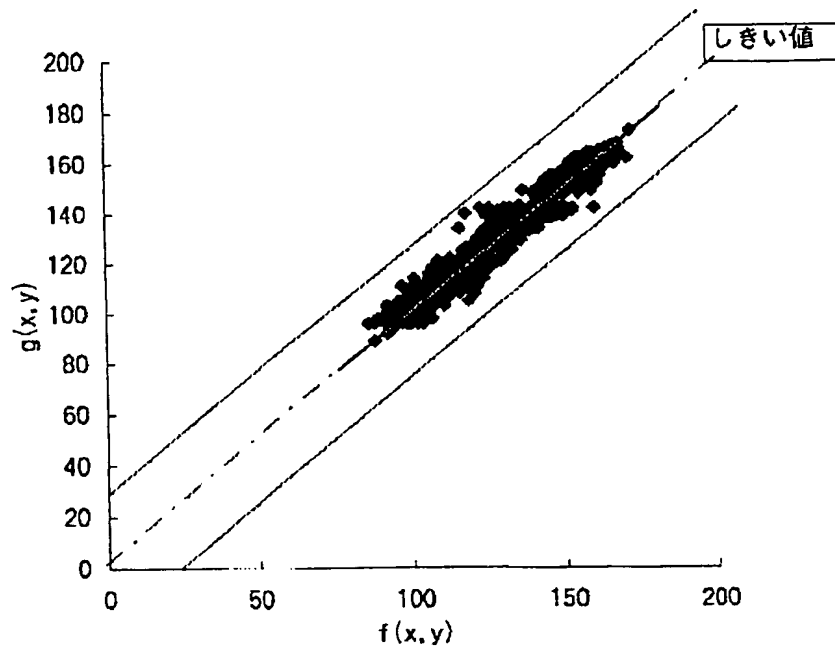


04240" 2ET46260

~~ファイル名 = D97010911A1.e1~~

~~【図3-5】~~

Fig. 34
~~図 35~~

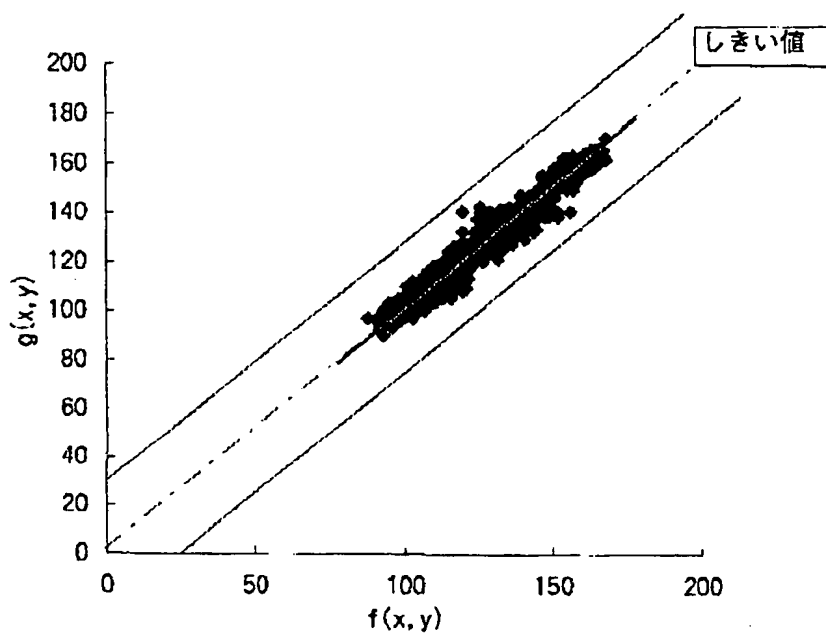


660240" ZET46260

ファイル名 = D97010911A1.e1

図3-6

Fig. 35
~~図3-6~~

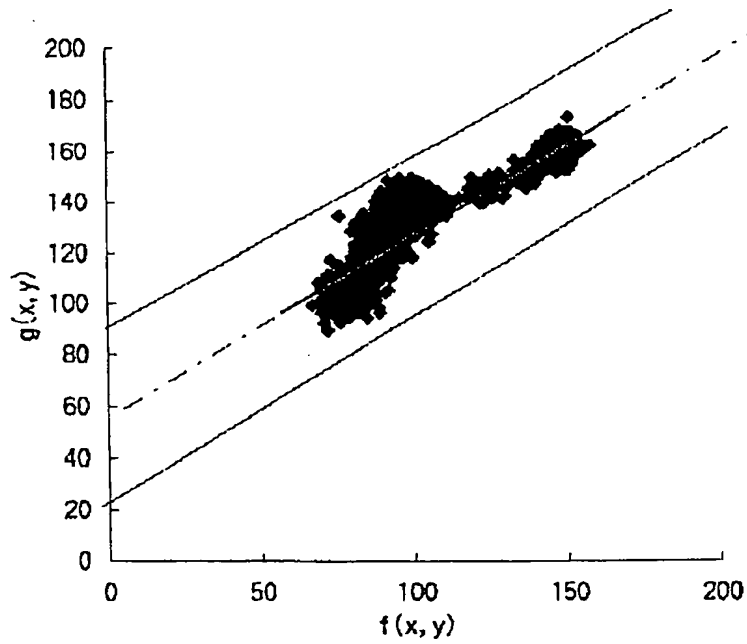


660240" ZET46260

ファイル名 = D97010911A1.e1

【図37】

Fig. 36
~~図 37~~



09294137.042099
660240"ZET46250


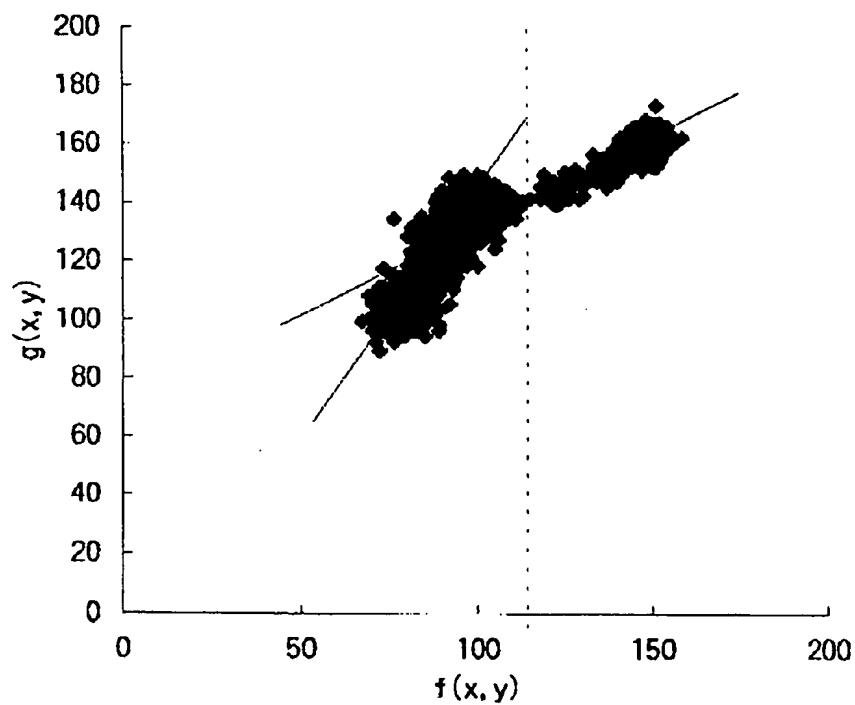
~~【-38】~~

Fig. 37

38

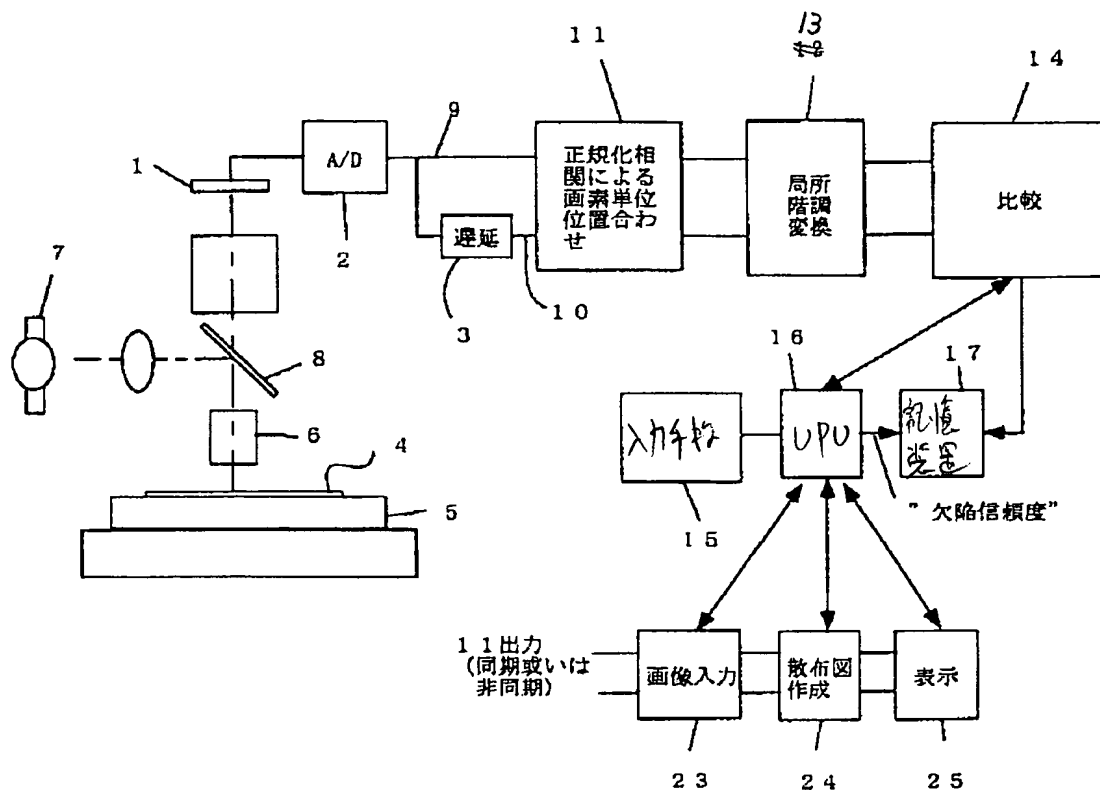


ファイル名 D98008141A1.et

【書類名】 図面

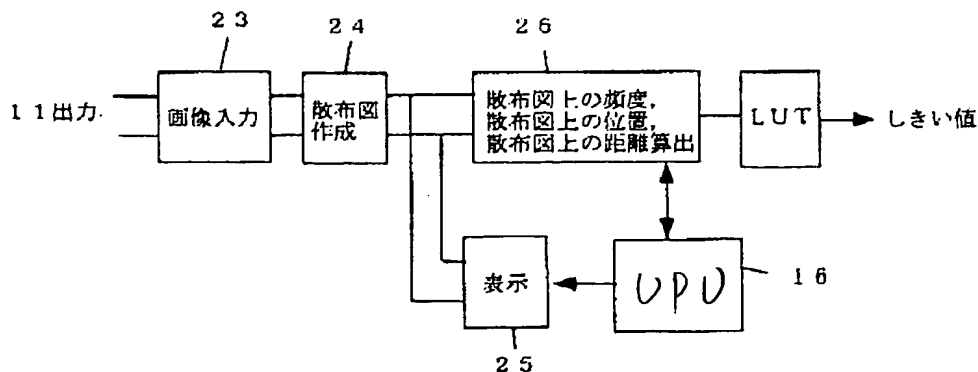
【図1】

Fig. 38
図 1



【図2】

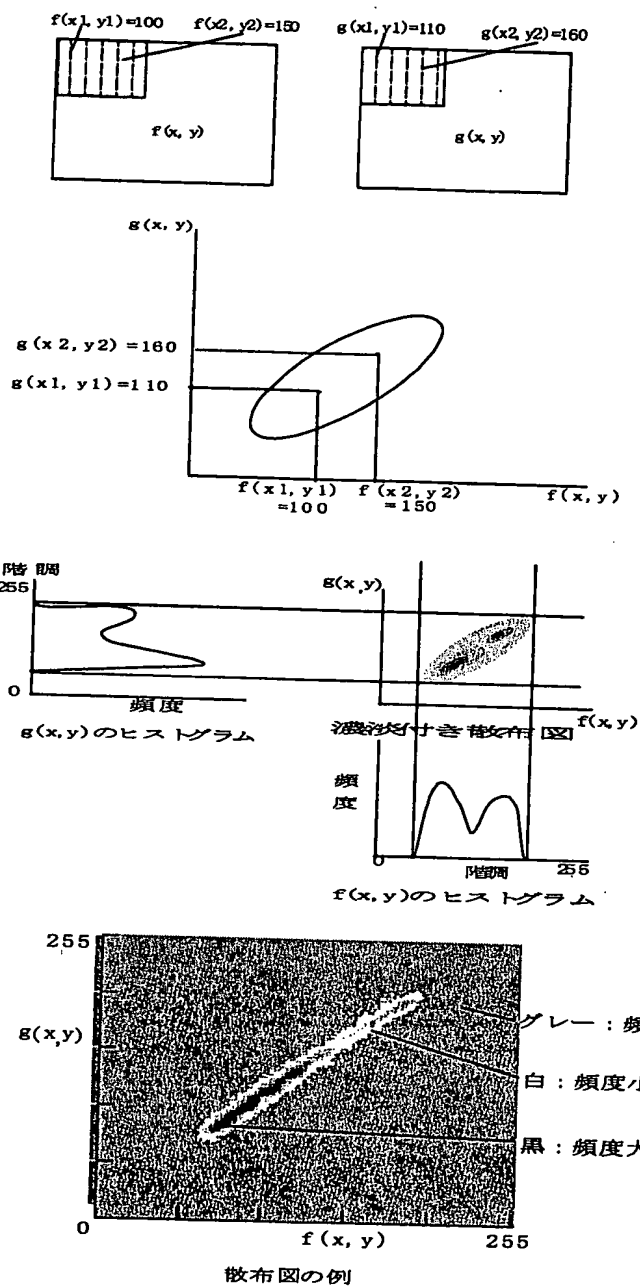
Fig. 41
図 2



本図面をイメージスキャナで読み取りそのまま印刷される場合があるので、作成上の注意を備えて記載する。

Fig. 39

図39



- 左端の点線内の図表に対応した部分を黒く塗る。上下に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下（上記余裕を含む）。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を誤み取り範囲内に記載する。

〈表の例〉

表 1		
	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

〈数式の例〉

$$|i_1| = \frac{E_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数 1})$$

〈図の例〉

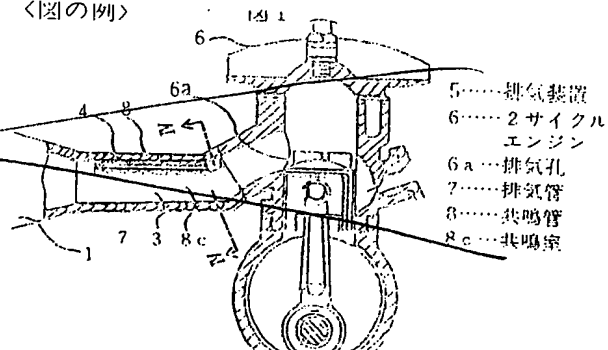
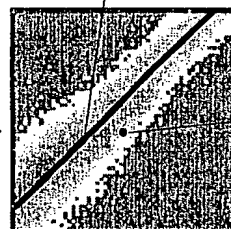


Fig. 40A

(a)



最小自乗法による近似直線

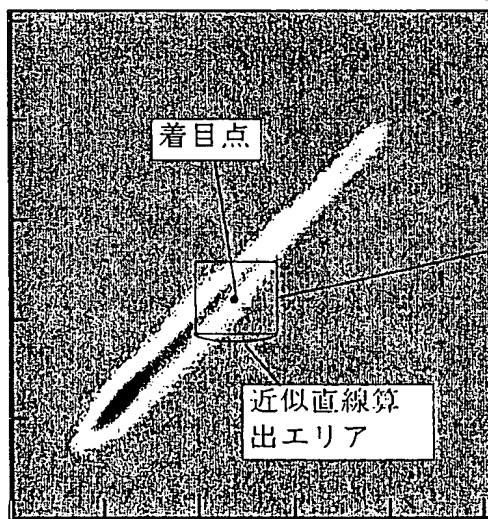


着目点

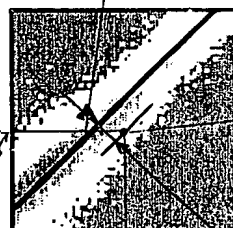
- ・ 散布図上の各着目点を中心とするエリアの近似直線を求め、そのゲインとオフセットを補正係数とする。
- ・ エリアサイズは散布図の頻度に応じて可変とする。

Fig. 40B

(b)



最小自乗法による近似直線

着目点
(座標(BxBy)頻度)距離
↓
2階の信頼度

- ・ 散布図上の各着目点を中心とするエリアの近似直線を求め、そのゲインとオフセットを補正係数とする。
- ・ エリアサイズは散布図の頻度に応じて可変とする。

作成上の注意

1. 発明の特長最もよく示す図を国1とする。

2. 各図と主図の上部に1、2のうちに連続番号を付し、並順に記列する。

3. 中心線は直線しない。

4. 1枚に2つの図表を収める場合は必ず下方向に並べる。

5. 図面は、方紙の枠外にみださない。ただし、定コンパスを用いて明確に書く。

6. 特許(ア)ア数字は出願を明記する。

7. 符号は、図面を明記する。ただし、同一の符号は、同一の図面に記列する。

8. 同一部分以上の図面に記列する場合は、同一の符号を付す。

9. 断面を示す分には、ハチングを施す。ただし、ハチングは、ハチングの方向に記列する。

00240" 4E146260

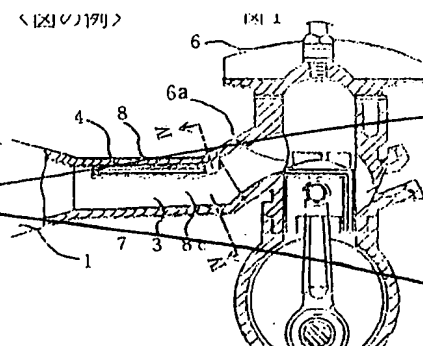
- 左端の点線は、図面に記列した部材を区別する。上に10mm程度余裕をとる。
- 図表の大きさ：横 148mm 縦 30mm以上、210mm以下(上記余裕を含む)。
- G3ファクシミリ程度の解像度なので、細かく書きすぎない。
- 表1、数1、図1等の区別を読み取り範囲内に記載する。

<表の例>

	条件 1	条件 2
回路 1	1. 5	2. 3
回路 2	1. 2	1. 9
回路 3	1. 8	2. 4

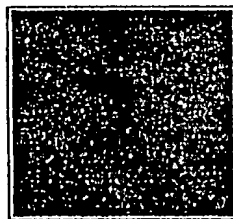
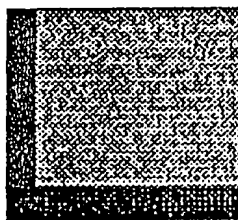
<数式の例>

$$|I_1| = \frac{E_{dc}}{\sqrt{r_1^2 + \left(\frac{1}{\omega \cdot C_1}\right)^2}} \dots (\text{数 } 1)$$

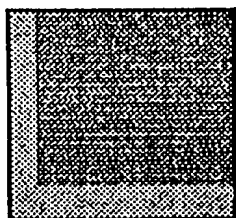
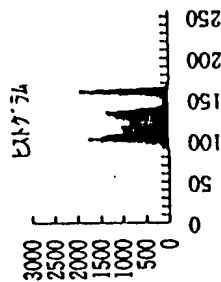


- 5.....排気装置
- 6.....サイリ
- 6a.....排気孔
- 7.....排気管
- 8.....共振管
- 8c.....共振室

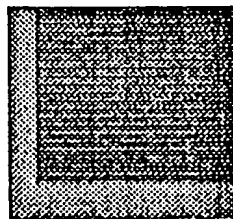
局所的明さと暗さを正さない場合



増

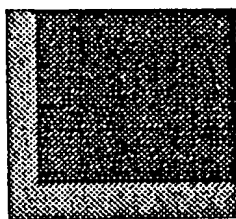


$f(x, y)$

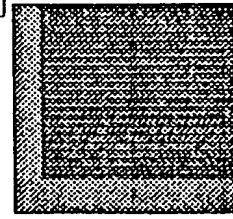


$g(x, y)$

局所的明さと暗さを正す

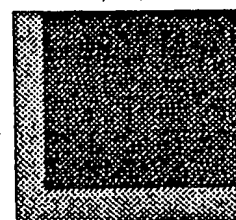


$f(x, y)$

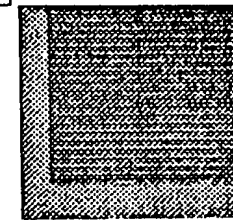


$g(x, y)$

画素単位マッピング (正規化相関)



$f(x, y)$

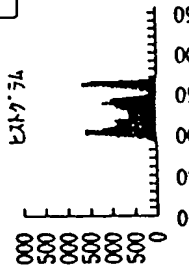


$g(x, y)$

画素単位移動

局所的明さと暗さを正す

マッピング



以上の注意

透明の部分を
黒く塗りつぶす
上図を例として

ある。

解明すること
解明した部分
の透明部分を
黒く塗りつぶす
上図を例として
ある。

解明した部分
の透明部分を
黒く塗りつぶす
上図を例として
ある。

解明した部分
の透明部分を
黒く塗りつぶす
上図を例として
ある。

解明した部分
の透明部分を
黒く塗りつぶす
上図を例として
ある。

解明した部分
の透明部分を
黒く塗りつぶす
上図を例として
ある。

解明した部分
の透明部分を
黒く塗りつぶす
上図を例として
ある。

解明した部分
の透明部分を
黒く塗りつぶす
上図を例として
ある。

解明した部分
の透明部分を
黒く塗りつぶす
上図を例として
ある。

- ①左端の点線は図面に描かれた部分を黒く塗りつぶす。止点の位置は任意とする。
- ②図面の大きさ：横 11.8mm、縦 30mm以下、24mm以下（止点線を含む）。
- ③（G377）の点線は図面の解明結果を、細かく書き添える。
- ④表11、表12、図1等の図面を、必ず表11の図面に記載する。

（表11の例）

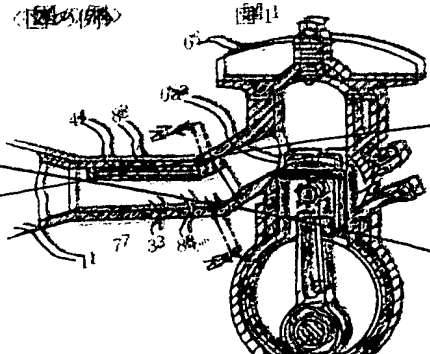
表 11

	案件11	案件22
図面11	11. 55	22. 33
図面22	11. 22	11. 99
図面33	11. 88	22. 44

（表12の例）

$$\sqrt{4 + \left(\frac{11}{100 - C_1} \right)^2} \dots (表11)$$

（図1の例）



- 51... 排気装置
- 52... 排気管
- 53... 排気口
- 54... 排気室
- 55... 排気弁
- 56... 排気機構
- 57... 排気機構
- 58... 排気機構
- 59... 排気機構
- 60... 排気機構
- 61... 排気機構
- 62... 排気機構
- 63... 排気機構
- 64... 排気機構
- 65... 排気機構
- 66... 排気機構
- 67... 排気機構
- 68... 排気機構
- 69... 排気機構
- 70... 排気機構
- 71... 排気機構
- 72... 排気機構
- 73... 排気機構
- 74... 排気機構
- 75... 排気機構
- 76... 排気機構
- 77... 排気機構
- 78... 排気機構
- 79... 排気機構
- 80... 排気機構
- 81... 排気機構
- 82... 排気機構
- 83... 排気機構
- 84... 排気機構
- 85... 排気機構
- 86... 排気機構
- 87... 排気機構
- 88... 排気機構
- 89... 排気機構
- 90... 排気機構
- 91... 排気機構
- 92... 排気機構
- 93... 排気機構
- 94... 排気機構
- 95... 排気機構
- 96... 排気機構
- 97... 排気機構
- 98... 排気機構
- 99... 排気機構
- 100... 排気機構

ファイル名 = D98003141A1_e1

【図 6】

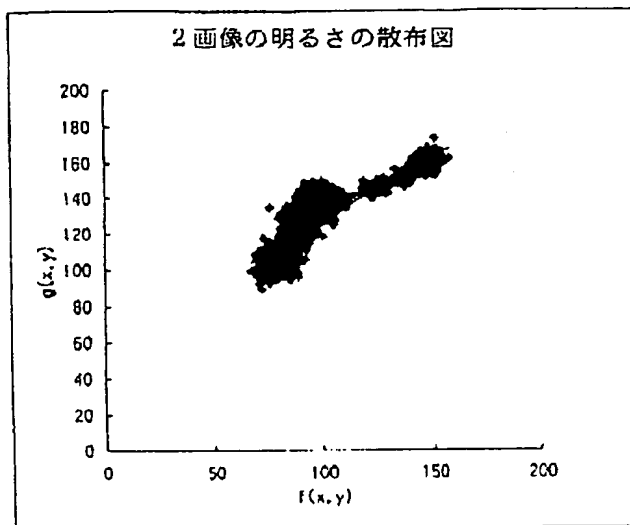
Fig. 43A

~~図 6~~

1) 画素単位的位置あわせ後

傾き	切片
0.705	55.947

$Vr = 447.4806$
 $Vg = 40.02821$

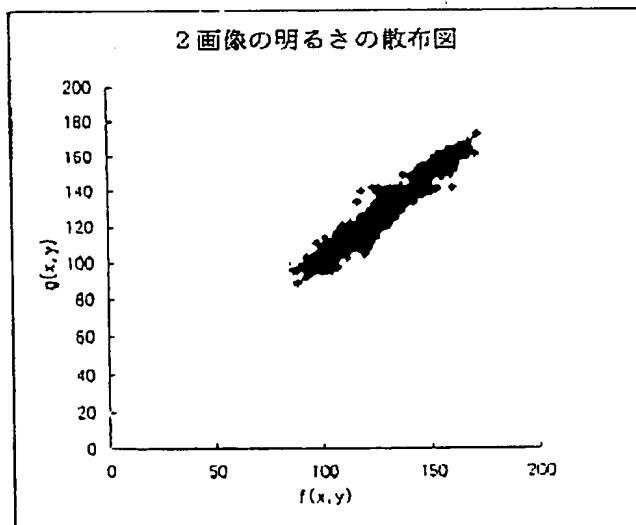


2) 明るさ合わせ後

傾き	切片
0.986	2.567

$Vr = 478.921$
 $Vg = 8.598012$

Fig. 43B



0004137.042069
660240" 2876260

ファイル名 D98009141A1.e1

【図13】

Fig. 44A
~~図13~~

(a)

欠陥番号 欠陥座標 欠陥面積 欠陥の長さ 欠陥の明るさの差 欠陥信頼度(頻度情報)

1 (100.10, 202.20) 4.54 (2.2, 1.5) 14 100

2 (120.75, 232.72) 10.2 (2.9, 4.2) 20 250

3

Fig. 44B
(a)

欠陥番号 欠陥座標 欠陥面積 欠陥の長さ 欠陥の明るさの差 欠陥信頼度(距離情報)

1 (100.10, 202.20) 4.54 (2.2, 1.5) 14 25

2 (120.75, 232.72) 10.2 (2.9, 4.2) 20 12

3

Fig. 44C
(a)

欠陥番号 欠陥座標 欠陥面積 欠陥の長さ 欠陥の明るさの差 欠陥信頼度(位置情報)

1 (100.10, 202.20) 4.54 (2.2, 1.5) 14 (100, 200)

2 (120.75, 232.72) 10.2 (2.9, 4.2) 20 (250, 200)

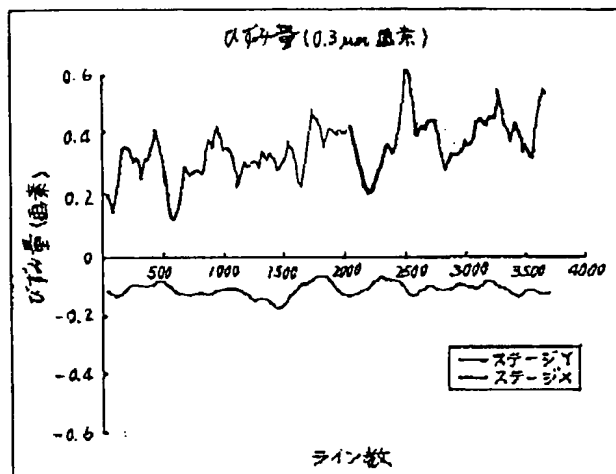
3

1660240"ZET46260

ファイル名 = D98003141A1.et

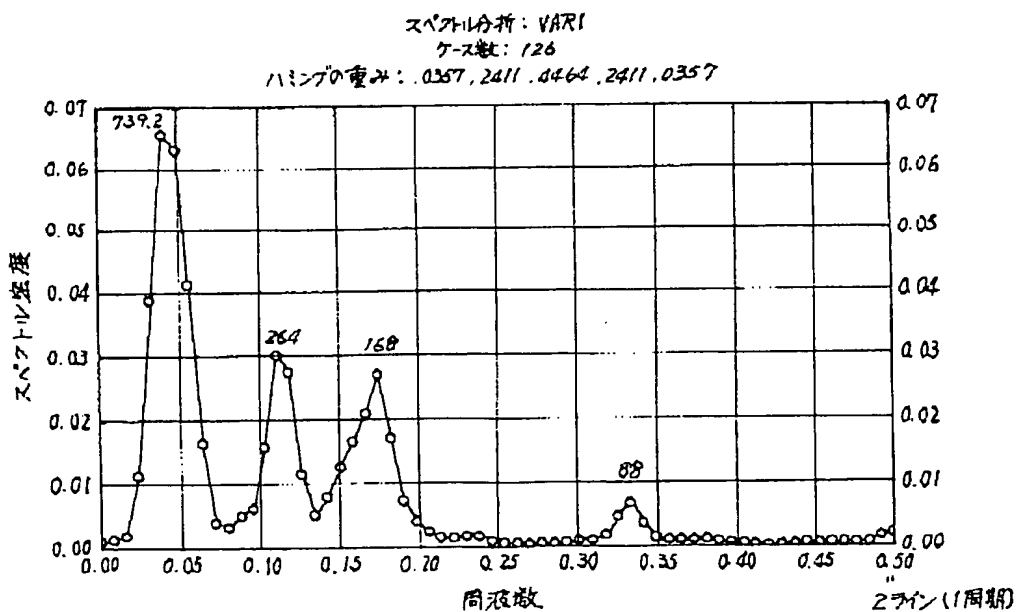
【図 7】

Fig. 45
~~図 7~~



【図 8】

Fig. 46
~~図 8~~



660240 2E146260-094413 04209